

氏名	山 崎 聡
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第2988号
学位授与の日付	平成8年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Reperfusion Hastens Appearance and Extent of Distribution of Type I Collagen in Infarct Zone: Immunohistochemical Study in Rat Experimental Infarction (再灌流により、梗塞部のI型コラーゲンの出現と分布の範囲は早められる：ラット実験的心筋梗塞に於ける免疫組織学的検討)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 二宮 善文 教授 菅 弘之

学位論文内容の要旨

- 【背景】心筋梗塞後の再灌流によるI型コラーゲンの時間的推移への影響は、検討されていない。
- 【目的】梗塞後のI型コラーゲンの出現と分布を再灌流心と非再灌流心で比較検討する事
- 【材料と方法】雄性SD系ラットの左冠動脈起始部を結さつ閉塞、心筋の壊死が完成される2時間後に再灌流し経時的(1~7日後)に心を摘出。対照として非再灌流心を同日時に摘出。avidin-biotin-peroxidase法でI型コラーゲン(ポリクローナル抗体)を染色し比較検討した。
- 【結果】再灌流心では梗塞辺縁部に2日後(非再灌流心に比し1日早く)に出現し、以後7日後まで漸増した。
- 【結論】急性心筋梗塞後の再灌流は、コラーゲンマトリックス形成を促進すると考えられた。
- なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査結果の要旨

本研究はラットの心筋梗塞再灌流心を用いて、心筋梗塞後のI型コラーゲンに対する再灌流の影響を研究したものであるが、従来十分確立されていなかった心筋梗塞後のI型コラーゲンの分布と時間的経過に対する再灌流の影響に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。